

【令和2年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

日本語教室ボランティアのための

みんなでがんばろう!

オンライン日本語学習支援 スキルアップ講座

ボランティア教室で活動中の皆さん、コロナ禍で教室の活動、お休み中でしょうか。さぼうと21では、2020年4月17日、ZOOMを利用して学習支援室の活動を再開し、今は、平日も週末も活動をするようになりました。あちこちでオンラインでの日本語学習について研修する機会をいただきましたが、「なかなかスタートに踏み切れない」「自信がない」というお声を耳にします。そこで、2月は超初心者の方からZOOMベテランの方までが、「適当にみつくろって」参加可能なオンライン日本語学習支援活用講座を企画しました。ご興味のある方はお早めにお申し込みください!

■対象：地域日本語教室でボランティアとして活動中の方

※同じ教室からのご参加は人数を制限させていただくことがあります。

■会場：ZOOM 利用によるオンライン開催

■日時：2月中の平日 10時～12時、19時～21時(両時間帯、同じ内容です。)

■内容 ※本講座はご希望の回のみご受講ください。

【第1週】2月1日(月)～2月5日(金) ※各回定員8名まで

-ZOOMに入室して、基本操作ができるようになる

【第2週】2月8日(月)～2月12日(金) ※祝日を除く ※各回定員8名まで

-日本語支援に必要な ZOOM の基本操作ができるようになる

【第3週】2月15日(月)～2月19日(金) ※各回定員20名まで

-学習者の立場で教材を体験してみる+支援者の立場で教材を使ってみる

【第4週】2月22日(月)～2月26日(金) ※各回定員20名まで

-ZOOMであれこれやってみる、あれこれ考えてみる

■申込方法:ホームページ内メールフォーム、もしくは、
裏面申込書に必要事項をご記入の上、メール、FAXの
いずれかでご提出ください。

<https://forms.gle/dffZiC4MQAixmwF18>



*先着順にて受付とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

★講座実施ナビゲーター 「つなひろ」作成 ワーキンググループメンバー

有田玲子(インターカルト日本語学校 非常勤講師) 中川美保(聖心女子大学 嘱託講師)

西山陽子(横浜国立大学 非常勤講師) 矢崎理恵(社会福祉法人さぼうと21 文化庁事業担当)



主催：社会福祉法人 さぼうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さぼうと21は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とそのご家族の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

【講座メニュー】

1週目、2週目は、各週1人2回までのご参加とさせていただきます。

【目標】ZOOMに入室して、基本操作ができるようになる

1日(月)	2日(火)	3日(水) @目黒	4日(木)	5日(金)
①10時-12時 ②19時-21時 ◆担当：有田、矢崎	①10時-12時 ②19時-21時 ◆担当：中川、有田	★対面個別対応 13時~17時 ◆担当：矢崎	①10時-12時 ②19時-21時 ◆担当：西山、有田	①10時-12時 ②19時-21時 ◆担当：中川、矢崎

【目標】日本語支援に必要な ZOOMの基本操作ができるようになる

8日(月)	9日(火)	10日(水) @錦糸町	12日(金)
①10時-12時 ②19時-21時 ◆担当：有田、矢崎	①10時-12時 ②19時-21時 ◆担当：中川、有田	★対面個別対応 13時~17時 ◆担当：有田	①10時-12時 ②19時-21時 ◆担当：中川、矢崎

【目標】様々な教材の、オンラインでの利用について理解が深まる（学習者の立場で教材を体験してみる+支援者の立場で教材を使ってみ

15日(月)	16日(火)	17日(水) @目黒	18日(木)	19日(金)
①10時-12時 ②19時-21時 「つながるひろがるにほんごでのくらし」を使ってみよう① ◆担当：中川美保、有田玲子	①10時-12時 ②19時-21時 「つながるひろがるにほんごでのくらし」を使ってみよう② ◆担当：有田玲子、中川美保	★対面個別対応 13時~17時 ◆担当：矢崎	①10時-12時 ②19時-21時 「NHK WORLD-JAPAN」の教材を使ってみよう ◆担当：(交渉中)	①10時-12時 ②19時-21時 「いろいろ生活の日本語」「きいてまねてはなして」を使ってみよう ◆担当：中川美保 (もう一方 交渉中)

【目標】ZOOMであれこれやってみる、あれこれ考えてみる

22日(月)	24日(水) @目黒	25日(木)	26日(金)
①10時-12時 ②19時-21時 「オンラインで防災ワークショップ」体験+話し合い ◆担当：小倉文佳 補助：矢崎理恵	①10時-12時 ②19時-21時 「オンラインでクッキングワークショップ」体験+話し合い ◆担当：植木千津 補助：矢崎理恵	19時-21時 「オンライン日本語学習支援の体験から」① ◆報告者：西山陽子 有田玲子	19時-21時 「オンライン日本語学習支援の体験から」② ◆報告者：長崎清美 中川美保

申込書送付先

メールアドレス：kensyu@support21.or.jp

FAX 番号：03-5449-1332

オンライン日本語学習支援活用講座 参加申込書

【お名前】 <small>ふりがな</small>	【お電話番号】 ※ご連絡が取りやすい番号の記入をお願いいたします。
【ご住所】 〒	
【Eメールアドレス】	@
【ご所属（ボランティア教室など）】 名称： 活動地域： 活動歴： 年 月	
【第1週】(2回まで) 1日① 1日② 2日① 2日② 4日① 4日② 5日① 5日② 3日対面(目黒)	
【第2週】(2回まで) 8日① 8日② 9日① 9日② 12日① 12日② 10日対面	
【第3週】 15日(① ②) 16日(① ②) 18日(① ②) 19日(① ②)	
【第4週】 22日(① ②) 23日(① ②) 24日(19時~のみ) 25日(19時~のみ)	
●今後、当会が主催する講座のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。(はい・いいえ)	

※ご記入いただいた情報は、無断で本講座以外の目的に使用することはありません。

ぼうさい 防災ワークショップ



じたく ひなん
～ 自宅での避難 ～

ひ じかん
日にちと時間

12月5日(土) 12:30 ~ 14:30

ば しょ
場所

うち けいたい さんか
お家で、パソコンや携帯から参加できます！
(Zoom)



おぐらせんせい はな
小倉先生が話してくださいます
ぼうさい
防災のプロフェッショナルです！

まな
学べること

1. 水害や地震が起こったら、どこに避難？ 避難の方法を知ろう！
2. 自宅で避難するときに必要なものは？ 今日から準備しよう！
3. 自宅は安全？ おうちの中をチェックしよう！



さんか ひと おし
参加したい人は、さぽうと21のスタッフに教えてください

しゃかいふくしほうじん

社会福祉法人さぽうと21

TEL

03-5449-1331 (平日と土曜日10:00~18:00)

MAIL

info@support21.or.jp

ぼうさい 防災ワークショップ



ひなん そな
～ 避難のための備え ～

ひ じかん 日にちと時間

2月13日（土）12:30 ～ 14:30

ば しょ 場所

うち けいたい さんか
お家で、パソコンや携帯から参加できます
(Zoom)



おぐらせんせい はな
小倉先生が話していただきます
ぼうさい
防災のプロフェッショナルです！

まな 学べること

1. ひなんじよ
避難所ってどんなところ？
2. ひなんじよ せいかつ
避難所で生活することになった時、役に立つグッズ！



などなど、たくさん学ぶことができます！

さんか ひと おし
参加したい人は、さぽうと21のスタッフに教えてください

しゃかいふくしほうじん

社会福祉法人さぽうと21

TEL

03-5449-1331 (平日と土曜日10:00～18:00)

MAIL

info@support21.or.jp



ティーンエイジャーのための

あんぜん

安全セミナー

ZOOM

がつ 1月31日 (土) 午後 2時 ~ 3時

- あなたの近くにも危険が・・・！ 身近にある犯罪を知ろう！
- 犯罪に巻き込まれないために知っておきたいこと
- 困ったときの相談先 など

今回もまたまた
特別オンライン編！

【2020年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

地域日本語教室ボランティアのための

活動基礎講座 ～秋冬の回～

ボランティア教室で活動を始めたばかりの皆さん、「日本語学習支援って何だろう」とか「外国人の学習者と楽しく時間を過ごせるのだろうか」とか、様々な不安をお持ちではないかと思えます。そんな不安を抱いている方々のために、皆さんの日々の活動がより実り多いものになることを願って、「地域日本語教室ボランティアのための 活動基礎講座～秋冬の回～」を行います。皆様、ぜひご参加ください。

開催日	各回のテーマ・講師	
	午前 10:00-12:00	午後 1:00-3:00
1 1月24日 (日)	A1 ★外国にルーツをもつ方からの視点で見る 「多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割」 楊 梓 (阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)	B1 ★ 「地域での日本語教育の実践」に学ぶ ～横浜市から～ 門 美由紀、藤井美香 劉玉珊 (元学習者) (公益財団法人 横浜市国際交流協会/YOKE)
2 1月31日 (日)	A2 「日本に暮らす外国人にとっての在留資格とは？」 東京都行政書士会品川支部 長岡 由剛	B2 ★「特定分野での日本語教育の実践」に学ぶ 「留学生は今…、技能実習生は今…」 山本 弘子 (カイ日本語スクール) 栗又 由利子 (きぼう国際外語学院)
3 2月7日 (日)	A3 「異文化を理解する」って？」 田中美穂子 (社会福祉法人さほうと21)	B3 「やさしい日本語」 岩田一成 (聖心女子大学 現代教養学部)
4 3月7日 (日)	A4 「上手な聴き手になるには？」 大瀧敦子 (明治学院大学 社会学部社会福祉学科)	B4 「日本語学習支援のきそのきそ・その1」 岩田一成 (聖心女子大学 現代教養学部)
5 3月14日 (日)	A5 「外国人からの相談を受けたら？」 新居みどり (NPO 法人国際活動市民中心/CINGA)	B5 「日本語学習支援のきそのきそ・その2」 岩田一成 (聖心女子大学 現代教養学部)

※A1, B1, B2 (★) の講座については、過去に本講座修了の方も受講可能です。

■対象：地域日本語教室でボランティアとして活動を始めて間もない方 20名

■会場：ZOOMでのオンライン講座となります。

■申込方法：QRコードもしくは以下のメールフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/QSsVjcxgYYSgsgKa6>

期限：2021年1月15日(金) (定員に達し次第受付終了)

裏面申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくはFAXでご提出でもけっこうです。

※全回出席の方のご受講を優先させていただきます。



主催：社会福祉法人 さほうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さほうと21は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

【A】 キーワード「多文化共生」「外国人住民」	【B】 キーワード「地域日本語教育」「実践」
A 1 (毎回講師が変わります) 外国にルーツをもつ方からの視点で見る「 多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割 」(「多文化共生社会日本」の現状や課題を知り、地域日本語教室に期待される役割を考える)	B 1 (毎回地域・講師が変わります) 「地域での日本語教育の実践に学ぶ」 (地域の日本語教育に関わる方の実践を聞き、活動の広がりや面白さ、課題を共に考える) ※できる限り、学習当事者からもお話しいただく
A 2 「日本に暮らす外国人にとっての「在留資格」とは？」 (「在留資格」についての基本知識を学び、在留資格により日本に暮らす外国人にどのような可能性と拘束が生ずるのかを知る)	B 2 (毎回分野・講師が変わります) 「●●への日本語教育を知る」 (「特定分野の学習者を対象とした日本語教育(日本語学校、技能実習生、介護人材など)」を知り、地域日本語教室の果たすべき役割を考える) ※できる限り、関係する学習者にお越しいただき、お話しいただく
A 3 「異文化を理解する」って？」 (参加者皆でワークに参加し、「異文化を理解する」ということ、「異文化の中に身をおく」ということについて実感をもって学ぶ)	B 3 「やさしい日本語」って？」 (外国人とのやりとりで必須の「やさしい日本語」について、その必要性を確認しつつ、「やさしい日本語力」を身につける)
A 4 「上手な聴き手になる」には？」 (「聴くこと」の専門家からお話を聞き、日本語学習支援に必須の「聴く力」について、その必要性を知り、「聴く」の基礎を学ぶ)	B 4 「日本語学習支援のきそのきそ・その1」 (地域日本語教室での活動を楽しみ、有意義な活動ができるよう、「日本語」について学び、「日本語学習支援」について考える)
A 5 「外国人からの相談を受けたら？」 (「外国人からの相談にどう対応するか、しないか」を考え、あわせて外国人住民の「相談先」や「拠り所」の情報を得る)	B 5 「日本語学習支援のきそのきそ・その2」

◆「修了証」の発行について◆
 「活動基礎講座」は2017(平成29)年度より定期的に関講することを目指してスタートしました。A1～A5、B1～B5の全10講座を受講した方には、さほうと21より「修了証」を発行します。例えば、今期は事情があつて一部講座の受講がかなわなかった方も、次期講座で同種の講座を受けてくだされば、「修了」とみなします。何か効力がある修了証ではありませんが、一つの学びの証としておもちいただければと思います。

申込書送付先

メールアドレス: kensyu@support21.or.jp FAX番号: 03-5449-1332
 郵送先: 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

活動基礎講座 参加申込書	
【お名前】 <small>ふりがな</small>	【お電話番号】 ※ご連絡が取りやすい番号の記入をお願いいたします。
【ご住所】 〒 _____ 都 _____ 県 _____	
【Eメールアドレス】 _____@_____	
【ご所属(ボランティア教室など)】 名称: _____ 活動地域: _____ 活動歴: _____年 月	
●今回、参加できない回があれば、事前にお知らせください。また、ご質問等があれば、お書きください。	
●今後、当会が主催する講座のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。(はい・いいえ)	

※ご記入いただいた情報は、無断で本講座以外の目的に使用することはありません。

【2020 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

特別オンライン編！

地域日本語教室ボランティアのための
活動基礎講座

ボランティア教室で活動を始めたばかりの皆さん、「日本語学習支援って何だろう」とか「外国人の学習者と楽しく時間を過ごせるのだろうか」とか、様々な不安をお持ちではないかと思えます。そんな不安を抱いている方々のために、皆さんの日々の活動がより実り多いものになることを願って、今年も「活動基礎講座」を行います。今回は新たな試みとして、ZOOM を利用したオンライン講座に挑戦してみます。

開催日	各回のテーマ・講師 ※内容については一部変更の可能性があります。	
	午前 10:00-12:00	午後 1:00-3:00
1 6月28日 (日)	B 1 ★ 「地域での日本語教育の実践」に学ぶ -兵庫県から- 遠藤 知佐 (公益財団法人 兵庫県国際交流協会)	A 1 ★ 「多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割」 オチャンテ 村井 ロサ メルセデス (桃山学院教育大学教育学部)
2 7月5日 (日)	B 2 ★ 特定学習者層への日本語教育を知る 「生活者としての外国人」への日本語教育を知る」-コロナ禍での日本語教室の現状と将来を語り合う- ファシリテーター 矢崎 理恵 (社会福祉法人 さほうと2 1)	A 2 ★ 「日本に暮らす外国人にとっての在留資格とは？」-コロナ禍での動きも整理しながら- 東京都行政書士会品川支部
3 7月19日 (日)	B 3 「やさしい日本語」って？ 岩田 一成 (聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科)	A 3 「異文化を理解する」って？ 田中 美穂子 (社会福祉法人 さほうと2 1)
4 8月2日 (日)	B 4 「日本語学習支援のきそのきそ・その1」 岩田 一成 (聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科)	A 4 「上手な聴き手になるには？」 大瀧 敦子 (明治学院大学社会学部社会福祉学科)
5 8月23日 (日)	B 5 「日本語学習支援のきそのきそ・その2」 岩田 一成 (聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科)	A 5 「外国人からの相談を受けたら？」 新居 みどり (NPO 法人国際活動市民中心 (CINGA))

※ (★) の講座(A 1, A 2, B 1, B 2,)については、本講座修了者もご受講可能です。

■ 対象：地域日本語教室でボランティアとして活動を始めて間もない方 20 名

※全回受講可能な方、オンラインでないと参加が難しい遠方の方など優先します。

■ 会場：ZOOM でのオンライン講座となります。

■ 申込方法：QR コードもしくは以下のメールフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/QSsVjcxgYYsGsgKa6>

期限：2020 年 6 月 22 日 (月)

裏面申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくは FAX でご提出でもけっこうです。



主催：社会福祉法人 さほうと2 1

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さほうと21 は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその家族の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

